

泉佐野市観光協会ご入会にあたっての

趣 意 書

泉佐野市は、海・里・山の魅力をあわせもつ豊かな自然と縄文・弥生時代から現代にいたるまで、多くの歴史資源に恵まれたまちです。

特に、鎌倉時代には、熊野街道、孝子越街道、粉河街道の3つの街道では、多くの人々や物資が往来して「市」が開かれ、沿道には集落が形成されました。

また、近世に入ると、漁業では沿岸漁業はもちろん、遠く対馬・五島にまで盛んに出漁し、佐野網といわれました。また、廻船業も発達し、日本海沿岸へ商圏を広げました。

このような歴史をもつ本市は、平成6年9月に開港した関西国際空港の玄関都市であります。

空港の開港及び空港開港に伴う道路・鉄道網の整備や宿泊施設の立地等により、国の内外から多数の観光客が、本市を訪れるようになりました。

また、関西国際空港の2本目の滑走路が、平成19年8月に供用開始されました。

さらに、りんくうタウンにおいては、週末を中心にりんくうプレミアム・アウトレットが、大阪府内のみならず他府県からの多数の来場者で賑わっているうえに、パパライメント広場跡地にりんくうプレジャータウンシークルがオープンしたことにより、本市への集客力に拍車がかかりました。

一方、内陸部・山間部においても、市内最大の景勝地である犬鳴山には、年間を通じてハイカーや観光客が絶えることがありません。

また、JA大阪泉州が開設した農産物の直売施設であるこーたり～なという新たな集客スポットも生まれました。

さらに、南海本線泉佐野駅のリニューアルに伴い、平成21年4月には泉佐野市観光情報センターが開設され、観光情報の発信拠点としての役割とともにホスピタリティーの充実・向上が期待されるところであります。

このように、市域は従来の観光資源に加え、近年集客施設の立地が相次いでおり、今後はこれらの各種資源・施設を有効に活用した観光施策の実施が求められます。

しかしながら、泉佐野市観光協会の会員数は、長きにわたり約120名と変動がありません。

当然のことながら、会員数の大小が、観光協会の事業規模に大きな影響を与えます。

従って、本市が新旧の豊富な観光・集客資源を有効に活用した観光振興事業を展開し、さらなる賑わいづくりを図るためには、観光協会の会員拡大が必至であります。

つきましては、本趣旨をご理解のうえ、この機会に是非とも泉佐野市観光協会にご入会賜りますようご案内申し上げます。

平成23年3月

泉佐野市観光協会 会長 東條 仁哲